

地域経済循環分析ツール

地域経済が見える化

政策立案や町おこしに

- 自治体を選択するだけで、産業別の生産額や雇用者所得、石油・ガスなどのエネルギー代金として地域外に流出している額など、経済の特徴が一目で分かります。
- 全国約1,700市区町村の分析資料を、任意の自治体を選択するだけで作成可能！他の自治体との比較も簡単にできます。

令和4年

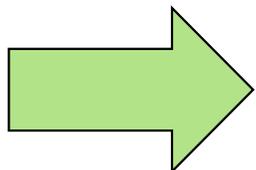
環境省 大臣官房 地域政策課

なぜ、地域経済の循環構造が必要なのか？

地域経済に必要なこと = 「稼ぐ力」 + 「所得の循環構造」

地域経済でよくある悩み・・・

- ◆ 有数の工業地帯を有していたり、人気観光地であったり、先端企業を誘致しているなど、一見、地域の経済は潤っているように見えるが、地域の住民の所得が低い・・・
- ◆ 多額の補助金や交付金が地域に入ってきているのに、なかなか経済が育たない・・・
- ◆ 再生可能エネルギーを地域で導入すると、本当に地域の所得は向上するの？



地域経済が**循環型構造**になっていないため

「地域を強く」するための2つのポイント

地域で所得を循環させること

所得の地域の外への流出を抑制し、
地域内で循環する仕組みを作ること

地域で所得を稼ぐ力を強くすること

豊かな経済循環構造のために、
地域内で効果的に稼ぐ産業を育てること

地域経済循環分析からわかること

- 地域経済の長所と短所を分析し、地域の所得(お金)の流れを生産、分配、支出(消費、投資等)の三面の視点から「見える化」
- 地域経済の全体像や、**所得の流出入**（稼ぐ力・流出額）、地域内の**産業間取引（循環構造）**を把握することが可能

地域経済循環分析から主にわかること

生産面

地域の稼ぐ力は？

地域の得意な産業やその規模、地域の稼ぐ力（地域外から所得を流入させる力）など**地域の産業構造の強みや全体像**を把握できます。

分配面

地域住民の所得はいくらか？（ここが一番大事！）

産業別の雇用者所得や地域への補助金などの財政移転など、**地域の所得構造**の全体を把握できます。

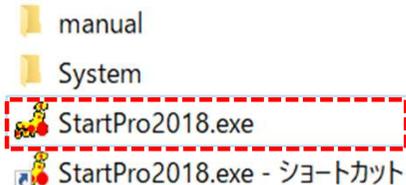
支出面

地域ではどのように所得を支出しているのか？

地域内での**消費**、地域内への**投資**、地域外との**経常収支**の状況が把握できます。

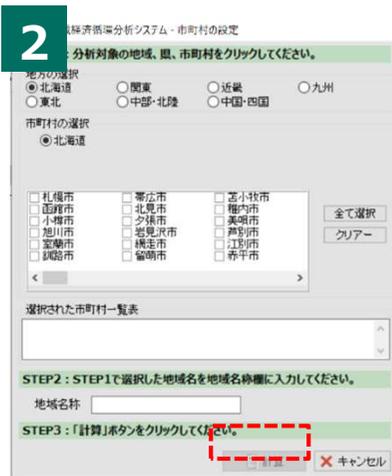
自動作成ツールの使用で手軽に分析可能

1



ダウンロードしたファイル（自動作成ツール：StartPro2018.exe）を起動

2



分析資料を作成する市区町村をチェック（複数選択可）
地域名称を入力して「計算」をクリック
保存先フォルダを指定して、「保存」をクリック

3



5分程度で分析資料ファイルが自動出力

手軽に分析

市区町村を選ぶだけで、網羅的な経済分析資料が自動作成！

加工が簡単

パワーポイント形式で出力。説明相手に合わせて加工ができます！

組合せ自在

複数の市区町村を任意に組み合わせて、都市圏や流通圏単位でまとめた分析も可能。自治体間連携の検討にも！

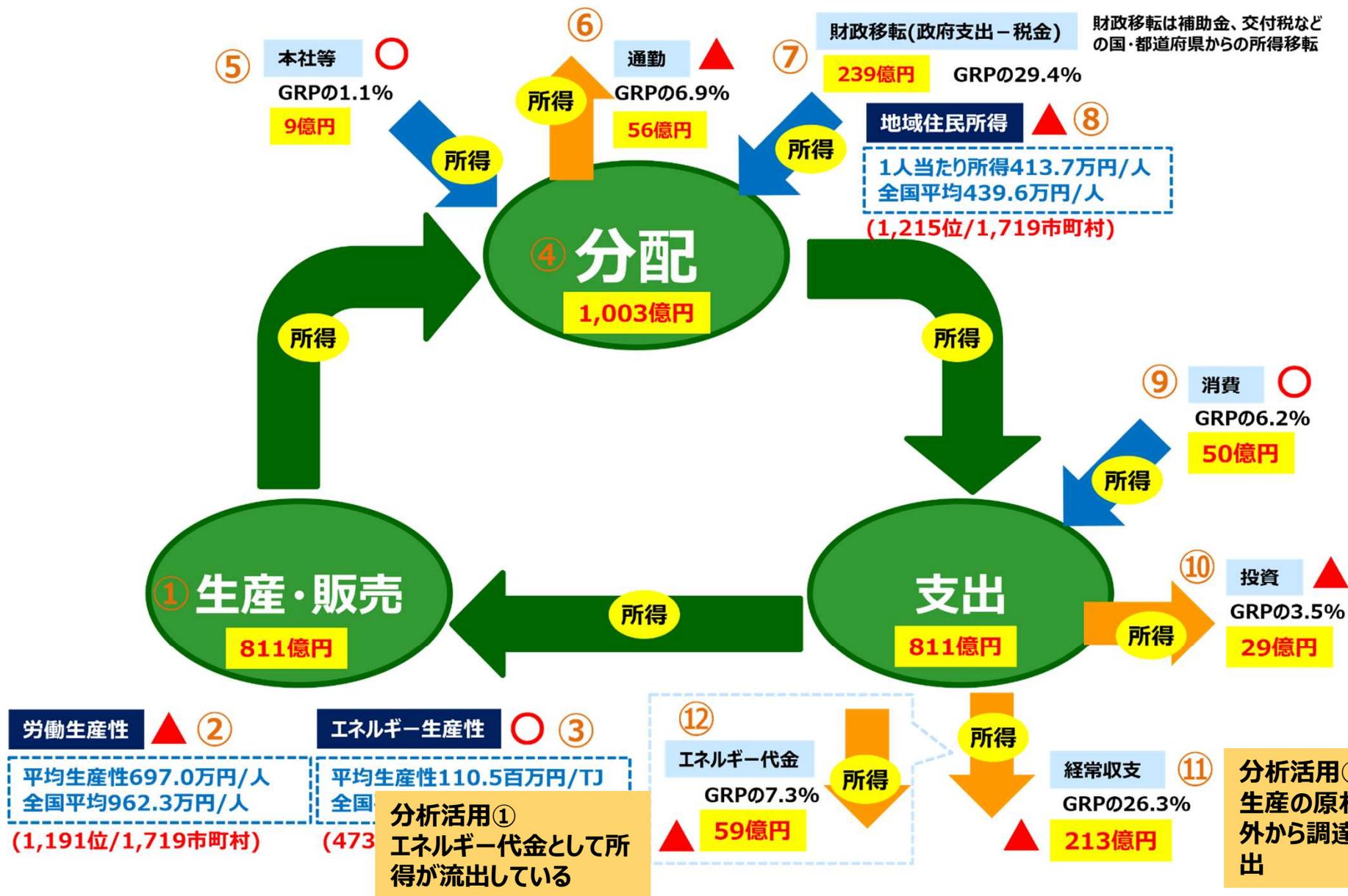
比較が可能

経済センサスの個票などをベースに、統一基準により全市区町村のデータを作成。全指標で他自治体との比較が可能です！

自動作成ツール出力例 (1)

分析結果と解説をまとめた資料 (pptxファイル)が自動的に生成

地域の所得循環構造②



自動作成ツール出力例 (2)

	地域の特徴	分析内容
生産	<p>① 水俣市では、保健衛生・社会事業が最も付加価値を稼いでいる産業である。</p> <p>② 第2次産業では、建設業が最も付加価値を稼いでおり、次いで化学、その他の製造業が付加価値を稼いでいる産業である。</p> <p>③ 第3次産業では、保健衛生・社会事業が最も付加価値を稼いでおり、次いで住宅賃貸業、公務が付加価値を稼いでいる産業である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 域内の事業所が1年間に域内でどれだけ付加価値を稼いだか ■ 付加価値とは、売上から原材料を除いた売上総利益である ■ 生産面で稼いだ付加価値が賃金・人件費として分配され、地域住民の所得(夜間人口1人当たり所得)に繋がっているか否か
分配	<p>④ 水俣市では、第3次産業の雇用者所得への分配が最も大きい。</p> <p>⑤ 水俣市の夜間人口1人当たりの所得は4.14百万円/人であり、全国平均と比較して低い水準である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 域内の産業で、域外から所得を稼いでいる産業は何か ■ 地域内で稼いだ所得が地域内の消費や投資に回っているか否か
支出	<p>⑥ 水俣市では、電気機械、その他の製造業、保健衛生・社会事業が域外から所得を稼いでいる。</p> <p>⑦ 消費は域内に流入しており、その規模は地域住民の消費額の1割未満である。</p> <p>⑧ 投資は域外に流出しており、その規模は地域住民・事業所の投資額の1割程度である。</p>	
エネルギー・CO2	<p>⑨ 水俣市では、エネルギー代金が59億円域外に流出しており、その規模はGRPの約7.3%である。</p> <p>⑩ エネルギー代金の流出では、石油・石炭製品の流出額が最も多い。</p> <p>⑪ 水俣市の再生可能エネルギーのポテンシャルは、地域で使用しているエネルギーの約7.61倍である。</p> <p>⑫ 水俣市のCO2排出量は、産業、民生、運輸部門のうち民生部門が最も多く、54千tCO2である。夜間人口1人当たりのCO2排出量は5.83tCO2/人であり、全国平均と比較して低い水準である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ エネルギー代金の支払いによって、住民の所得がどれだけ域外に流出しているか ■ 域内に再生可能エネルギーの導入ポテンシャルがどれくらい存在するか ■ CO2がどの部門からどれだけ排出されているか

注) 再生可能エネルギーのポテンシャルには、環境省「再生可能エネルギー情報提供システム[REPOS(リーボス)]」における住宅用等太陽光、公共系等太陽光、陸上風力、洋上風力、中小水力(河川部)、地熱のデータを用いており、市町村単位のデータがない公共系等太陽光、洋上風力は市町村単位の按分した結果を用いている。

地域の施策における分析活用の例

活用事例①

「エネルギー代金」欄が「エネルギー代金の流出」となっている場合

エネルギー代金支払いによる地域外への資金流出の割合が分かるので…

(多くの自治体で地域内総生産額（GRP）の5～10%に上ります)



徹底した省エネ・再エネ、地域新電力の導入を推進することで、他地域に流出している所得を地域内に循環させ、地域内の投資・所得を増やすことができます

活用事例②

「経常収支」欄が「所得の流出」となっている場合

地域がどれだけ他の地域から原材料などを調達しているかが分かるので…



地域内の得意な産業における域内調達を高めること、新規調達先の立ち上げを進めることで、他地域に流出する所得を地域内で循環させることができます

経年変化版地域経済循環分析自動作成ツール

地域経済循環分析の自動作成ツールで出力されるデータを、
時系列で見ることができ、地域経済の変化について確認することができます。

経年変化分析ツールの特長

- ◆ 地域経済循環分析の各指標を、簡便に**時系列**で確認できる
- ◆ 町づくり、産業育成などの、**施策の効果が確認できる**
- ◆ 2010、2013、2015、2018年のデータを表示

経年変化版ツール出力例①

(3) 地域住民の所得はどの程度か

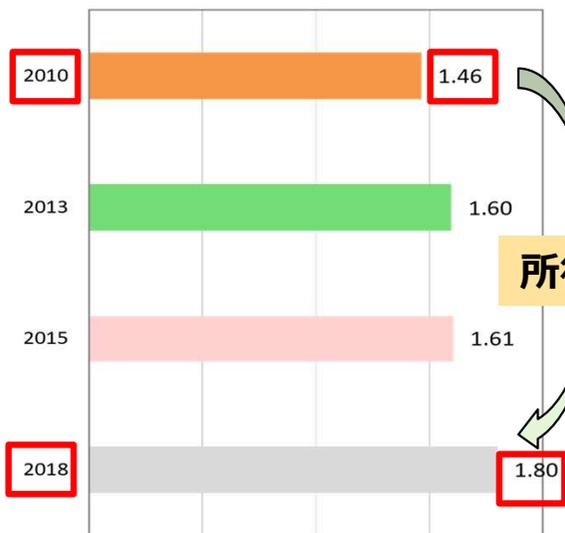
分析の視点

- 1 - 3節の賃金・人件費(雇用者所得)は、その土地で働く従業者の所得であり、域外からの通勤者が多い場合や、主力産業が資本集約型産業である場合、必ずしも企業の売上が地域住民の所得に繋がっていない可能性がある。
- ここでは、地域住民の夜間人口1人当たり所得の推移より、地域の1人当たり所得の変化を把握する。このとき、1人当たりの雇用者所得とその他所得を比較することで、1人当たり所得が高いまたは低い理由について考察する(下図①②③)。

夜間人口1人当たりの所得は2018年が最も高い(図③)。所得の内訳として、2018年の雇用者所得とその他所得を比較すると、雇用者所得よりもその他所得の方が高い。

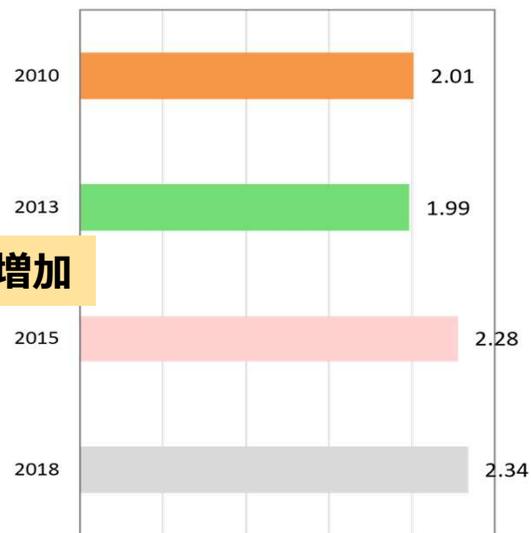
①夜間人口1人当たり雇用者所得

夜間人口1人当たり雇用者所得(百万円/人)
0.00 0.50 1.00 1.50 2.00



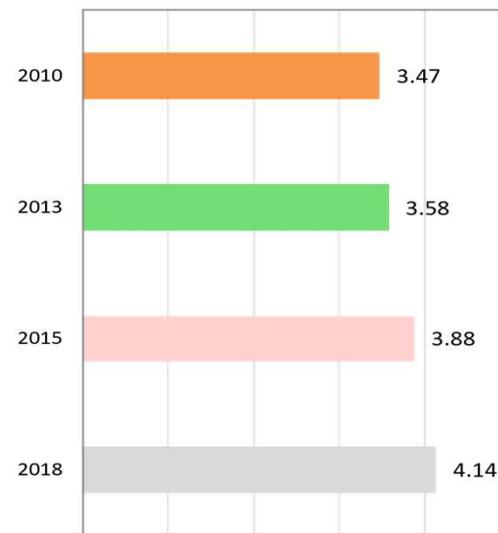
②夜間人口1人当たりその他所得

夜間人口1人当たりその他所得(百万円/人)
0.00 0.50 1.00 1.50 2.00 2.50



③夜間人口1人当たり所得 (=雇用者所得+その他所得)

夜間人口1人当たり所得(百万円/人)
0.00 1.00 2.00 3.00 4.00 5.00



所得の増加

注1)雇用者所得は、地域内の生産活動によって生み出された付加価値のうち、労働を提供した雇用者への分配額である。

注2)その他所得とは雇用者所得以外の所得であり、財産所得、企業所得、財政移転(交付税、補助金等)等が含まれる。

経年変化版ツール出力例②

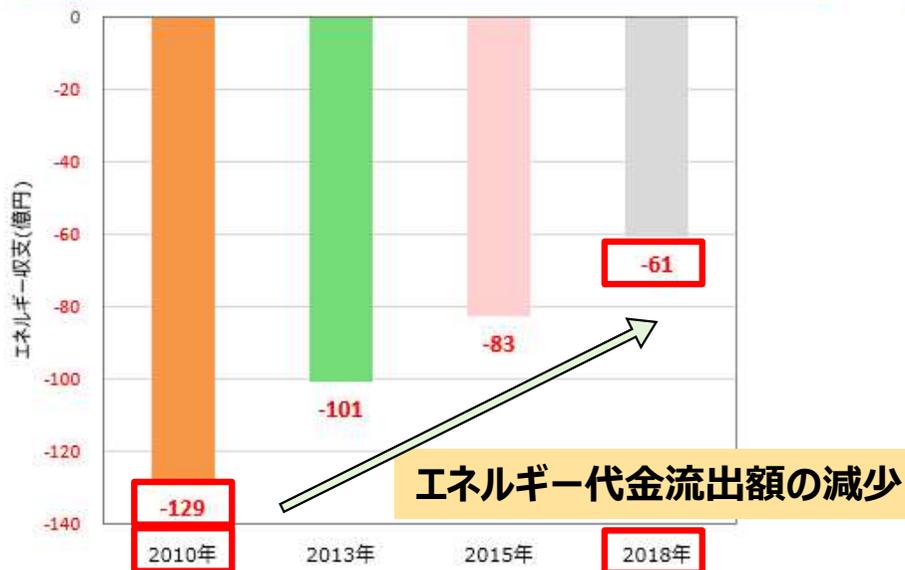
(5) エネルギー収支の分析

分析の視点

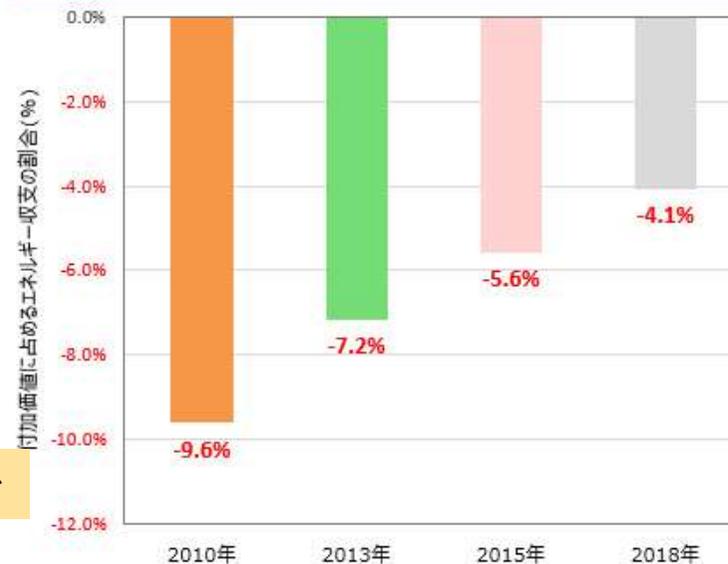
- エネルギー収支は、エネルギー製品の地域外への販売額(移輸出)から地域外からの購入額(移輸入)を差し引いたエネルギーの取引に関する収支であり、エネルギー収支の赤字が大きい地域はエネルギーの調達を域外に依存している地域である。
- ここではまず、エネルギー収支の推移を確認する(下図①)。
- 次に、付加価値に占めるエネルギー収支の割合の推移を確認し、地域経済の規模に対するエネルギー収支の水準を把握する(下図②)。

エネルギー収支は、2010年の-129億円から2018年の-61億円に改善しており、付加価値に占めるエネルギー収支の割合は、2010年の-9.6%から2018年の-4.1%に変化している。

① エネルギー収支



② 付加価値に占めるエネルギー収支の割合



経済波及効果分析ツールで政策立案を促進

- 再エネ導入や観光振興等の地域施策を実施する場合に、地域にどれだけの経済波及効果が生まれるかシミュレーションできます。

経済波及効果分析ツールの特長

- ◆ 太陽光・木質バイオマス発電、熱供給等、環境施策で9項目、空き屋対策、観光振興等、全11項目の地域振興施策メニューの中から選択して分析できます。
- ◆ 例えば太陽光発電の場合、「施策規模〇kW」を入力するだけでもシミュレーションは可能。ツールに組み込まれた標準設定を利用することで、詳細な事業計画がなくても試算できます。
- ◆ 地域の産業構造が反映されるため、同じ事業計画を入力しても、地域の実態に即して市区町村ごとに分析結果異なる。（経済循環分析の基礎データを活用）



自治体等にとって少ない負担で、定量的に経済波及効果を分析できます。
施策の実現に向け、関係者への説明資料としても分析結果の活用できます。

地域経済循環分析を動画でわかりやすく



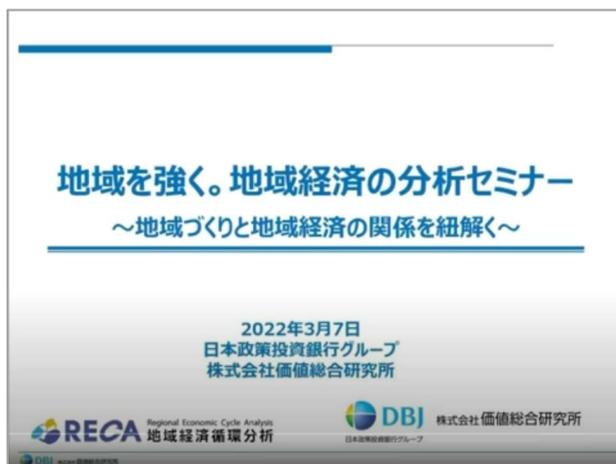
「地域循環共生圏」の考え方や地域経済循環分析をどのように使うか、概要をわかりやすく解説（8:35）

<https://www.youtube.com/watch?v=xfn0lwhTg18>

脱炭素で地域を強く。

「地域経済循環」の考え方や地域経済好循環の事例を動画でわかりやすく解説しています（5:16）

https://www.youtube.com/watch?v=dh3_12XoNW0



地域経済循環分析の基本から、実際の出力結果を読み解く視点、分析例など、詳細を解説（1:04:29）

<https://www.youtube.com/watch?v=PFyknFEvQSk>